



屋内用

# CATV・BS・CSブースター

取扱説明書



CATV・BS・CS BOOSTER

伝送周波数帯域  
CATV下り: 70~770MHz  
BS・CS : 1032~2602MHz

## 7BCLB25

AC100V方式

**F型端子** **25dB型**

宅内の、テレビ信号の分配損失を補償するブースターです。

**2600MHz 対応**

**BS・110°CSデジタル放送対応**



## 各部の名称と機能

### 上面

#### ACコード

(約1.8m)

ACコードを延長するために、途中で切断して別のコードをつなぐことは、電気設備技術基準で禁じられています。

#### BS・CS利得調整

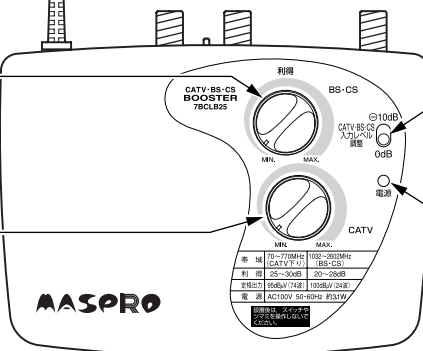
- 1032~2602MHzの出力レベルを0~ $\ominus$ 10dBの範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は「MIN.」になっています。

#### CATV利得調整

- 70~770MHzの出力レベルを0~ $\ominus$ 10dBの範囲で連続して調整できます。
- 出荷時は「MIN.」になっています。

### ご注意

- CATV上り信号は通過しません。
- 本器にケーブルモデムやケーブルモデム内蔵セットトップボックスを接続して、CATVインターネットを利用することはできません。
- 設置後は、スイッチやツマミを操作しないでください。



#### CATV・BS・CS入力レベル調整 ( $\ominus$ 10dB)

- 入力レベルが低い場合、「0dB」にします。
- 出荷時は「 $\ominus$ 10dB」になっています。

#### 電源表示灯

### 利得調整について

入力レベルが高い場合、「MAX.」(右)いっばいにすると、画像にモザイク状のノイズが出たり、画像が見えなくなったりすることがあります。(アナログ放送では、ビート縞、ワイパー現象が出ることがあります)

### 背面

#### 入力端子

(F型コネクター)

#### 分岐出力端子

(F型コネクター)

結合量切換スイッチによって、出力端子より $\ominus$ 10dBまたは $\ominus$ 20dB低いレベルでテレビ信号が出力されます。

#### 出力端子

(F型コネクター)

#### 結合量切換スイッチ ( $\ominus$ 10, $\ominus$ 20dB)

- 分岐出力端子の出力レベルが高い場合、「 $\ominus$ 20dB」にします。
- 出荷時は「 $\ominus$ 10dB」になっています。

**DIGITAL** デジタル放送対応 各種デジタル放送を、より高画質で見るために、妨害電波の影響を受けにくい、高いシールド性能を備えた機器にマスプロ電工が表示している、信頼のマークです。

だから



無鉛はんだの採用、カドミウム・水銀などの不使用により、RoHS指令に対応。

# 入力レベルの設定について

ブースターは、過大な入力レベルで作動させておくと、故障の原因となります。使用する前に必ず確認してください。

## 入力レベルの確認方法

レベルチェッカーまたはスペクトラムアナライザーで、CATV、BS・CSの各帯域ごとの入力レベルを確認してください。

### CATV下り帯域 (74波伝送時)

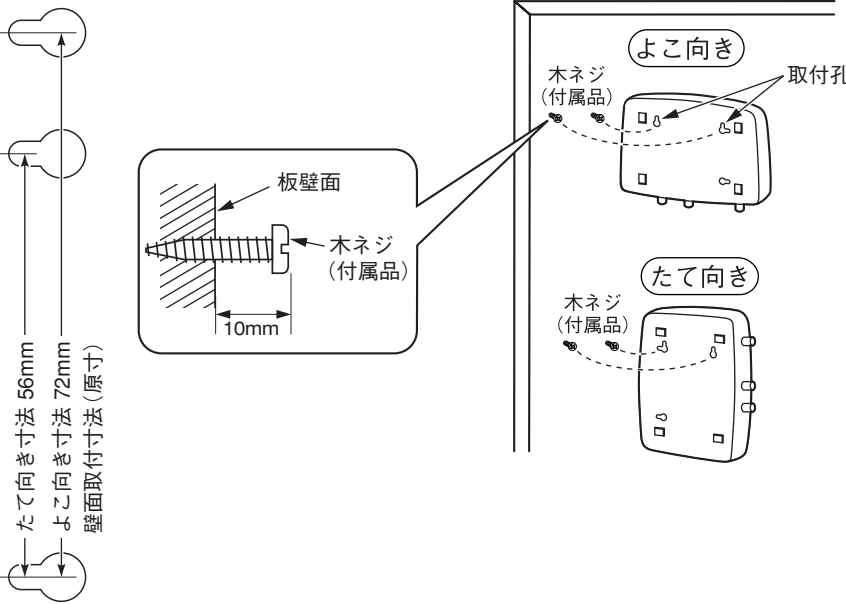
- 入力レベルが85dB $\mu$ V以下 (利得調整「MIN.」, CATV・BS・CS入力レベル調整「 $\ominus$ 10dB」のとき) になっているか確認してください。
- 入力レベルが85dB $\mu$ Vを超えるときは、別売のアッテネーター ATT1.5,3,6,10,15,20を使用して、85dB $\mu$ V以下にしてください。

### BS・CS帯域 (24波伝送時)

- 入力レベルが92dB $\mu$ V以下 (利得調整「MIN.」, CATV・BS・CS入力レベル調整「 $\ominus$ 10dB」のとき) になっているか確認してください。
- 入力レベルが92dB $\mu$ Vを超えるときは、別売のアッテネーター ATT1.5,3,6,10,15,20を使用して、92dB $\mu$ V以下にしてください。

## 板壁面取付方法

- ① 付属の木ネジ(2本)を板壁面に取付けます。  
(板壁面に取付けるときは、下記の寸法で木ネジの位置とねじ込みの高さを決めてください。)
- ② 本器背面の取付孔に木ネジを引っ掛けます。



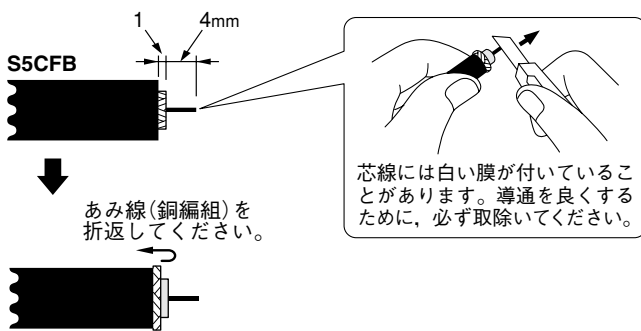
### ご注意

- ACプラグは、宅内の配線工事がすべて終了してから、ACコンセントに接続してください。
- 本器をAMラジオの近くに置くと、ラジオから雑音が出ることがあります。
- ブースターは、グラスウールのような断熱材の上に置いたり、包んだりしないでください。内部温度が上昇して、故障の原因となることがあります。
- 長期間ご使用にならないときは、ACプラグをACコンセントから抜いてください。

## F型コネクタの取付方法

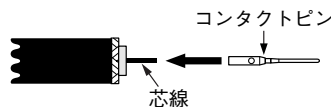
- F型コネクタC15FP5 (5Cケーブル用) は別売です。
- 接触不良やショートを防ぐため、プラグははいていないに取付けてください。

### ① ケーブルの加工 (加工寸法は原寸大です)

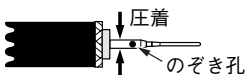


### ② コンタクトピンの取付け

1. コンタクトピンを芯線にはめてください。



2. のぞき孔から芯線が見えるのを確認してから、専用の圧着ペンチでコンタクトピンの根元を圧着してください。

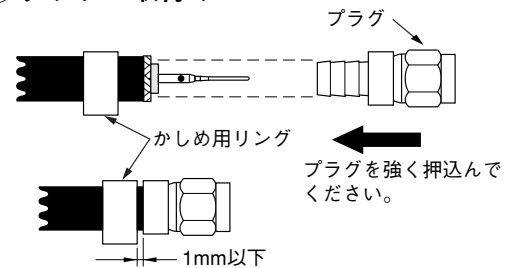


コンタクトピンを前後に動かして、しっかり圧着されていることを確認してください。

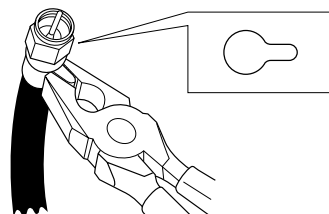
### ご注意

コンタクトピンは、必ず、専用の圧着ペンチで圧着してください。

### ③ プラグの取付け



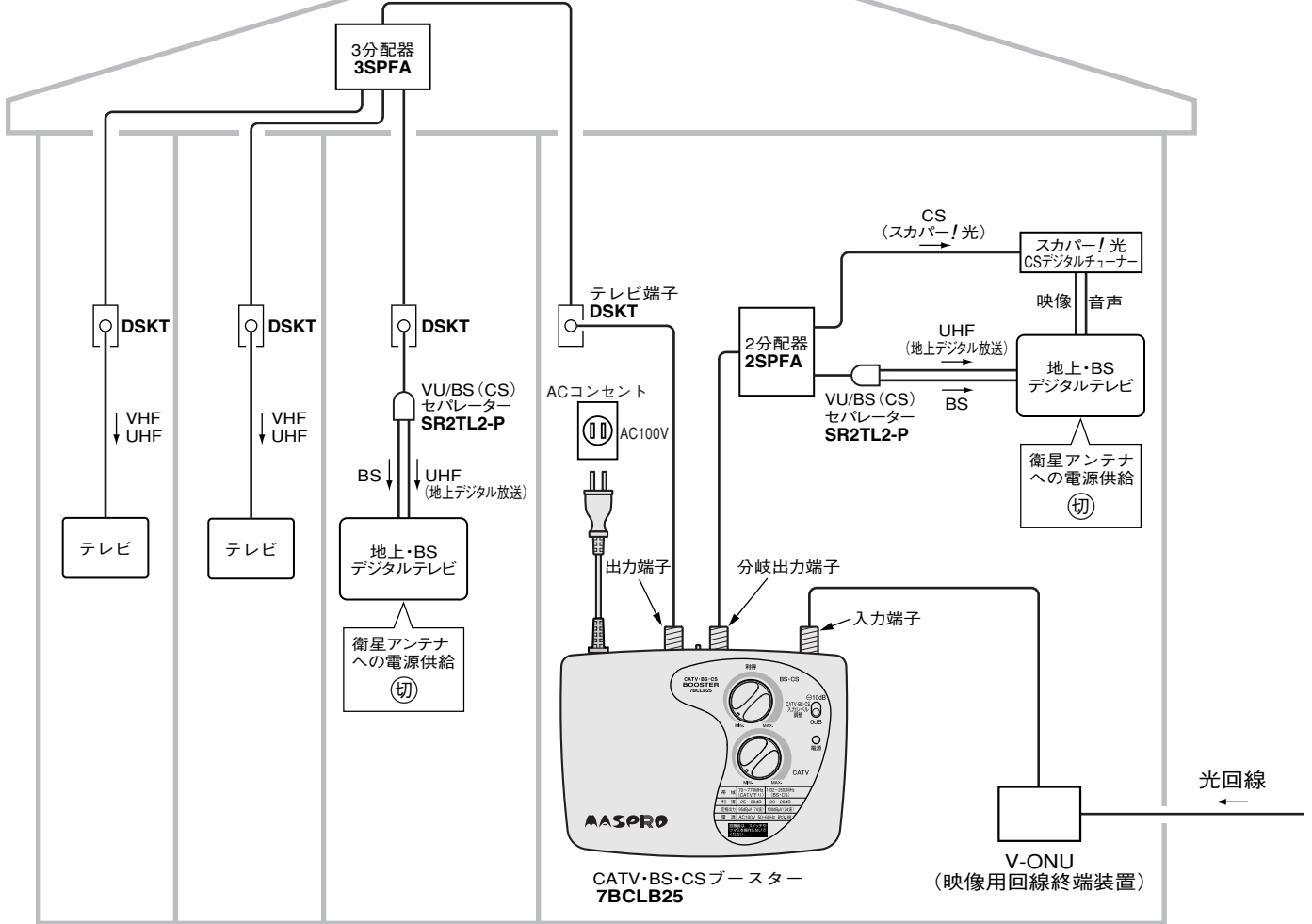
### ④ かしめ用リングをペンチで圧着



# 使用例

## スカパー! 光受信

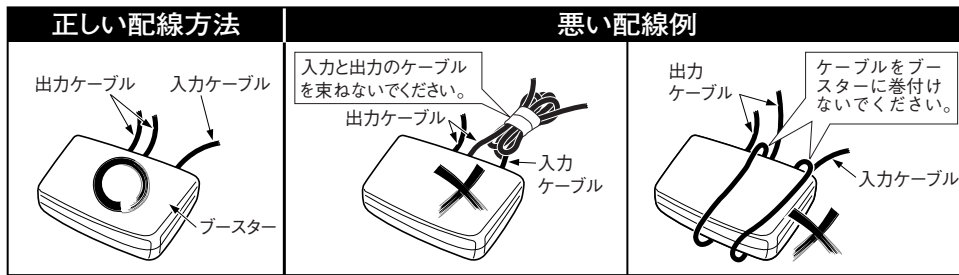
(逆送り配線)



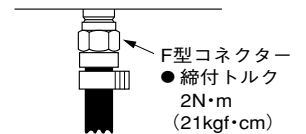
## ブースターの配線について

ブースターを正常に作動させるため、正しく配線してください。

- ① 入力と出力のケーブルは、束ねたり、ブースターに巻付けたりしないでください。
- ② 入力端子・出力端子の接続は、確実に行なってください。



F型コネクタでケーブルを接続する場合、指定のトルクで締付けてください。



## 正しく使用していただくために

予定の出力レベルまたはよい画質が得られないときは、次のチェックをしてください。

- ① 画質が悪い  
入・出力レベルが正しく調整してありますか。
- ② 入・出力  
● 入力と出力が逆に接続していませんか。  
● 出力端子、分岐出力端子は正しく接続してありますか。
- ③ 出力端子に信号が出ない  
入力信号がきていますか。
- ④ ケーブル・コネクタ  
断線またはショートしていませんか。
- ⑤ 電源表示灯  
点灯していますか。電源(AC100V)が供給されていますか。

以上の方法でもトラブルが解決できない場合、技術相談まで、お問合わせください。

木ネジ(板壁面取付用)……………2本

項目 Items	規格	
	CATV下り	BS・CS
伝送周波数帯域 Frequency Range	70~770MHz	1032~2602MHz
定格出力レベル Rated Output Level	95dB $\mu$ V(74波) 97dB $\mu$ V(57波) ※1 99dB $\mu$ V(32波)	100dB $\mu$ V(24波)
利得 Gain	25~30dB	20~28dB
入力レベル調整 Input Level Control	0, $\ominus$ 10dB切換	
利得調整範囲 Gain Control Range	0 $\sim$ $\ominus$ 10dB以上(連続可変)	0 $\sim$ $\ominus$ 10dB以上(連続可変)
周波数特性 Gain Response	3dB以内	5dB以内
分岐出力端子結合量 Tap Value of Branch Output Port	$\ominus$ 10, $\ominus$ 20dB切換	
雑音指数 Noise Figure	8dB以下	5dB以下
インピーダンス Impedance	75 $\Omega$ (F型コネクター)	
VSWR Voltage Standing Wave Ratio	2以下	2.5以下
相互変調 Intermodulation	$\ominus$ 65dB以下	$\ominus$ 60dB以下(24波) ※2
CTB Composite Triple Beat	$\ominus$ 60dB以下	—
CSO Composite Second Order Beat	$\ominus$ 60dB以下	
混変調 Cross Modulation	$\ominus$ 56dB以下	
耐雷性 Surge Protection Voltage	$\pm$ 15kV(1.2/50 $\mu$ s)のサージ電圧に耐えること	
使用温度範囲 Temperature Range	0 $\sim$ $\oplus$ 40 $^{\circ}$ C	
電源 Power Requirements	AC100V 50 $\cdot$ 60Hz	
消費電力 Power Consumption	約3.1W	
外観寸法 Dimensions	39(H) $\times$ 152(W) $\times$ 122(D) mm	
質量(重量) Weight	約390g	

マスプロの規格表に絶対うそはありません。保証します。

※1 デジタル信号は $\ominus$ 10dB運用。  
※2 2信号3次ひずみの値です。

保証書

CATV・BS・CSブースター保証書

お客様ご住所	— — — — —		
TEL.	— — — — —		
★お客様お名前	— — — — — 様		
★保証期間	— — — — —		
お買いあげ日	— 年	— 月	— 日から1年間
★ご販売店・住所	— — — — —		
TEL.	— — — — —		

★印の欄にご記入のないときは、無効になります。必ず記入してあることをご確認ください。もし、記入がないときは、ただちにお買いあげの販売店にお申出ください。本書は再発行いたしませんから、紛失しないよう大切に保管してください。

MODEL 7BCLB25 持込修理

- 取扱説明書などの注意にしがった正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合、本書をご提示のうえ、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。無料修理させていただきます。
- つぎのような場合、保証期間中でも有料修理になりますから、ご注意ください。
  - ・本書のご提示がない場合。
  - ・本書にお客様お名前、お買いあげ日、ご販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
  - ・火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧、およびその他の天災地変による故障、ならびに損傷。
  - ・ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障、ならびに損傷。
  - ・お買いあげ後の落下、および輸送上の故障、ならびに損傷。
  - ・接続する機器の故障により誘発する故障、および損傷。
  - ・一般家庭用以外(たとえば業務用および車両・船舶への搭載)に使用されたときの故障、ならびに損傷。
  - ・設置工事、施工の不備によって生じた故障、および損傷。
- 本書は日本国内に限り有効です。(This warranty is valid only in Japan.)

本書に明示した期間および条件で、無料修理をお約束します。保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できるときは、お客様のご要望により、有料修理いたします。なお、ご不明な点がありましたら、お買いあげの販売店にお問合わせください。

＝マスプロ電気株式会社＝

本社 〒470-0194 (本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80  
営業部 TEL名古屋(052) 802-2244

登録意匠 第1166284号

＝マスプロ電気＝

本社 〒470-0194(本社専用番号)愛知県日進市浅田町上納80  
技術相談

**0570-091119**

ナビダイヤル® 固定電話からは全国一律料金でご利用いただけます  
IP-PHS(ナビダイヤルが利用できない)電話からは**052-805-3366**  
受付時間 9～12時、13～17時(土・日・祝日、当社休業日を除く)

インターネットホームページ [www.maspro.co.jp](http://www.maspro.co.jp)  
技術相談以外は、お近くの支店・営業所にお問合わせください。

営業部 支店・営業所

- 首都圏(シ)(03)3499-5632
- 西日本(シ)(082)230-2359
- 鹿児島(099)812-1200
- 中日本(シ)(06)6632-1144
- 北日本(シ)(022)786-5062
- 福岡(支)(092)551-1711
- 沖縄(098)854-2768
- 鹿児島(099)812-1200
- 宮崎(0985)25-3877
- 熊本(096)381-7626
- 長崎(095)864-6001
- 北九州(093)941-4026

- 下関(083)255-1130
- 広島(支)(082)230-2351
- 松江(0852)21-5341
- 岡山(086)252-5800
- 松山(089)973-5656
- 高知(088)882-0991
- 高松(087)865-3666
- 大阪(支)(06)6635-2222
- 姫路(079)234-6669
- 神戸(078)231-6111
- 京都(075)646-3800
- 東海(工)(052)804-6262
- 名古屋(支)(052)802-2233
- 津(059)234-0261
- 岐阜(058)275-0805
- 豊橋(0532)33-1500
- 静岡(054)283-2220
- 松本(0263)57-4625
- 福井(0776)23-8153
- 金沢(076)249-5301
- 関東(工)(03)3499-5631
- 首都圏電材(営)(03)5469-5521
- 東京(支)(03)3409-5505
- 新潟(025)287-3155
- 横浜(045)784-1422
- 八王子(042)637-1699
- 千葉(043)232-5335
- さいたま(048)663-8000
- 前橋(027)263-3767
- 水戸(029)248-3870
- 宇都宮(028)636-1210
- 仙台(支)(022)786-5060
- 郡山(024)952-0095
- 盛岡(019)641-1500
- 秋田(018)862-7523
- 青森(017)742-4227
- 札幌(011)782-0711
- 釧路(0154)23-8466
- 旭川(0166)25-3111
- (営):営業グループ
- (シ):システム営業グループ
- (工):工事グループ